

令和 2 年

第 2 回仙北市議会定例会

教 育 行 政 方 針

仙北市教育委員会

令和 2 年 2 月 2 5 日

令和2年第2回仙北市議会定例会の開会にあたり、令和2年度の教育行政方針を申し上げます。

本年4月より中川小学校と角館小学校が統合して、新生角館小学校となり、中川地区の児童は現在の角館小学校へ通学することになります。児童たちは、両校関係者の配慮に満ちた一年間の交流により、不安を徐々に軽減し、新しい学校生活への期待感を高めつつあるようです。

これまでご理解、ご協力をいただいた中川地域の皆さん、中川小学校、角館小学校の保護者の皆さん、両校関係者の皆さんに厚く御礼申し上げます。

さて、小学校では令和2年度、中学校においては令和3年度から新学習指導要領が全面実施となります。小学校で外国語の授業が本格的に始まり、プログラミング教育が導入されるなど、戦後最大の改革とも言われています。急速かつ激しい変化が予想されるこれからの社会を、主体的・創造的に生き抜く子どもの育成に向けて、知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育むことを目指し、教科指導等の改善の具体的な姿を市内各学校に示していきます。

また、本市においても急速に少子化が進んでいることから、学校環境について考えるべき大きな分岐点に差しかかっていると捉えています。児童生徒が集団の中で多様な考えに触れ、認め、協力し、切磋琢磨し合うことを通じて一人ひとりの資質や能力を伸ばしていくことができるよう、様々な取り組みを実施していきます。

学校と地域の架け橋となる活動推進員による地域学校協働活動の推進、スポーツを介した地域と学校の交流、ふるさとの豊かな自然、歴史的な遺産や偉人、文化財や人的資源を活かした学習など、教育委員会全体で児童・生徒の成長に資する事業を展開していきます。

昨年の痛ましい事案のようなことが二度と起こらないよう、教職員の不祥事根絶に向けて、管理監督、指導を強化するとともに、秋田県教育委員会、市教育委員会、学校教職員、保護者等の連携によ

り更なる信頼関係の醸成に全力で取り組んでいきます。

【教育総務課】

◇学校教育の充実について

児童生徒の生命・身体の安全と心の健康の確保を最優先事項とし、命を守るための防災・安全教育の充実、いじめ・不登校対策、学力向上、体罰及び教職員による不祥事の絶無に重点的に取り組み、学校教育の一層の充実に努めます。

複雑で予測困難な変化が訪れると言われるこれからの社会を、他者と協働しながらも自立し、たくましく生き抜こうとする子どもの育成を目指します。そのために、生きて働く「知識・技能」、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」、学んだことを活かそうとする「学びに向かう力、人間性等」を、幼・保・小・中学校の円滑な接続と連携により、計画的、系統的、継続的にバランスよく育む学習活動の具体的な姿を、市内各学校と協働で追求していきます。

学力向上については、4月に実施される全国学力・学習状況調査、12月に実施される秋田県学習状況調査を活用し、その結果から本市の児童生徒に求められる基礎・基本的な知識及び思考力・判断力・表現力に係る各小・中学校の課題を明確にしながら、市内小・中学校と協働でその課題解決に努めていきます。

令和2年度の小・中学校の新入学児童生徒数については、小学校が122人、前年度比21人減（令和元年度143人）、中学校が181人、前年度比34人減（令和元年度215人）が予定されています。

複式学級については、白岩小学校と桧木内小学校での発生が予想されます。白岩小学校では、2・3年生の1つの複式学級、桧木内小学校では、4・5年生の1つの複式学級が発生すると予想されることから、複式学級指導支援員を配置し、複式授業のデメリットの軽減に努めます。

◇学校施設の充実等について

子どもたちが一日の大半を過ごす学校は、学習や生活の場であり、豊かな人間性を育む教育環境として重要な施設です。各学校施設の整備については、少子化が急速に進む中、その必要性や緊急性を勘案しながら、計画的に推進していきます。中でも老朽化等に伴う学校施設の大規模改修は、この後の学校の在り方を充分考慮の上、取り組んでいきます。

さらに、遠距離通学児童生徒の利便性と登下校時の安全・安心な通学環境を確保するため、通学路の安全点検やスクールバスの運行等について、各部署と連携を図り通学環境の整備に努めます。

【北浦教育文化研究所】

秋田県教育庁南教育事務所並びに同仙北出張所の指導主事と連携、協力しながら、市内小・中学校の児童生徒の学力向上に向けた授業改善と教職員の資質向上に向けた指導、助言を進めていきます。

市内の学校を訪問して行う授業研究会における指導、助言のほか、市内の教職員による各種研修会を開催し、教育目標の具現化と教育の質の向上に努めます。

また、不登校児童生徒への支援を行う適応指導教室「さくら教室」を運営し、2人の指導員を中心に、不登校児童生徒への対応や相談活動の充実、併せて市民や児童生徒、保護者からのいじめ事案等の相談に対しても、しっかりと対応します。

さらに、いじめや児童虐待等の悩みを抱えている児童生徒を見逃すことなく、その指導と支援を充実させるため、学校、市民福祉部、児童相談所等の関係機関との連携を密にし、迅速かつ適切に対応します。

令和2年度から全面実施となる小学校3・4年生の外国語活動及

び5・6年生の外国語科の授業において、外国語活動指導助手2人をALT（外国語指導助手）とともに各校に派遣し、よりきめ細かな指導がなされるようにします。

【総合給食センター（仮称）】

令和2年4月から、いよいよ総合給食センター（仮称）から仙北市市内小・中学校に安心して安全な給食の提供を開始します。

学校給食は、学校給食法に基づいて学校教育の一環として位置づけられております。児童生徒の心身の健全な発達を図るとともに、生涯を通じた健全な食生活の実現や食文化の継承のほか、食についての習慣や知識を楽しく身につけるための学習の場でもあります。

保護者や学校との連携を密にしながら児童生徒の偏食の改善や食事マナーの向上、食文化等についての理解の深化につながる取り組みを推進し、「家族とともに歩む学校給食」を目指します。

新給食センターは、主食の米飯を、全て仙北市産の「あきたこまち」を使用し、炊きたてのご飯を提供します。副食食材は地場産物や郷土料理などを取り入れ、郷土の文化を大切に作る心を育むよう「地域と結ぶ学校給食」を推進していきます。

また、センター内を汚染区域と非汚染区域に完全に分け、衛生面の強化に努めていくとともに、食材を調理する上で後戻りしない一方通行動線とすることで食の安全を確保します。更にアレルギー食についても、アレルギー専用の調理室を設け、症状にあわせて個別に料理し安心して食べられる給食を提供します。他にも、信頼される食を提供する上で、衛生管理体制を整備し秋田県版HACCP（ハサップ）（秋田県食品自主的衛生管理認証制度）の認証を取得し、安心して安全な心のこもったおいしい学校給食の提供に努めます。

【生涯学習課】

令和2年度は5ヶ年を実施期間とする「第3次社会教育中期計

画」の折り返し年度となり、市民が自発的意思に基づいて生涯における様々な学習が行えるよう、一人ひとりの学びを支援し、互いに教え合い学び合う知の循環型社会の構築を目指して啓発活動に努めます。

地域と学校が連携・協働し、子どもたちの成長を支えながら、地域全体の教育力の向上と活性化を目的として取り組んでいる「地域学校協働活動」は、現在、角館、生保内、神代の各小学校に「地域学校協働本部」を設置し活動を行っています。令和2年度は、新たに白岩、西明寺、桧木内の各小学校に協働本部を設置し、市内全小学校区における協働活動を推進します。

「花いっぱい運動推進事業」の「にしきのフラワーロード一斉植栽」では、例年、市民や関係者の協力により国道105号沿い約4.6kmに植栽されたマリーゴールドが、本市の風物詩として好評をいただいています。また、市内全域を対象に行っている「マリーゴールドの花苗配布」についても、今年も5月下旬に実施し、花のある住みよいまちづくりの一環として推進します。

子どもたちの豊かな表現力やコミュニケーション能力向上と、その環境づくりの一環として行っている「子ども演劇体験支援事業」では、市と包括連携協定を締結している「わらび座」の協力のもと、「演劇体験講座」として小学生から中学生を対象に実施してきました。令和2年度は、対象範囲、受講日数、演劇発表の場を設けるなど、各関係機関と連携しながら事業の拡充を図ります。

【公民館】

公民館は、地域における総合的な社会教育施設であり、市民が自由に気軽に学習出来る環境を整える役割を担っています。市民の価値観も多様化する中、古くからの文化継承を軸とした事業の拡充や、その時代に即した新たな事業を展開することで、教養の向上、健康の増進、生活文化の振興等を図ります。

また、中央公民館設置については、誰もが自発的に自分に合った学習に取り組み、地区を超えた学習参加により市民の交流が図られる活動拠点となるよう整備を推進します。

併せて、学校・家庭・地域が連携して子ども達を育てる地域学校協働活動の推進、市内の認定こども園、保育園、小・中学校、高等学校、大曲支援学校せんぼく校との連携強化に取り組みます。

【市民会館】

好評を得ております自衛隊音楽隊コンサートやロビーコンサート等を引き続き開催してまいります。

また、市民の活発な文化活動を促し、誰もが気軽に足を運びたいくなるような会館となるよう努めます。

施設は老朽化が著しいことから、順次改修を進め、施設を訪れる全ての方々に、安全かつ快適に利用していただけるよう、適切な管理に取り組んでいきます。

【田沢湖図書館】

図書館サービスの重要な要素である図書資料については、利用者のニーズや時代に即した選書に努め、より魅力ある蔵書構成を心がけ、資料の迅速な提供と、あらゆる年代の利用者に図書館の楽しさや役割を周知し、読書普及を図ってまいります。

また、好評を得ております「おはなし玉手箱」、「とことこタイム」、「朗読コンサート」等のイベントを継続し、図書館の複合的な魅力を発信してまいります。

【学習資料館・イベント交流館】

令和2年は、地域に図書館を開設して100周年、また新潮社記念文学館開館20周年を迎える節目の年にあたります。先人の努力と業績に感謝をしつつ、地域の皆様の読書環境の充実と、郷土の優れた文学の更なる周知に努めます。

学習資料館では、郷土資料の収集を推進し、地域の歴史や文化を後世に伝え、研究あるいは郷土を知ることを楽しむ利用者のお手伝いをします。市内小・中学校の学校図書館を通じて、児童生徒に対して図書資料を利用した学習を支援するとともに、読書好きの子どもが増えるよう環境を整えます。

イベント交流館に常設している新潮社記念文学館では、角館町割400年を記念した藩政時代からの資料展と、地域の図書館開設100周年、文学館開館20周年を記念した企画展を開催します。地域の皆様に親しんでいただける、工夫した楽しい展示を行う予定です。常設展示では「高井有一書齋」他、館内の展示内容の充実に努めます。

【スポーツ振興課】

東京オリンピックの聖火リレーについては、6月9日に角館桜並木駐車を発着会場として、日本の歴史と文化が色濃く感じられる武家屋敷通りを走る、約2.2キロのコースをリレーすることとなっています。

東京パラリンピックを応援する聖火フェスティバルについては、秋田県内各市町村で行われます。仙北市では8月15日に白岩雲巖寺で「白岩ささら奉納舞」により清められたかがり火から、「仙北市歴史文化の火」として採火の予定です。この炎は、8月17日に秋田県で一つとなり東京に送られます。東京に集められた全国の炎はパラリンピック聖火となり4日間リレーされ、8月25日の開会式で聖火台に灯されます。

タイ王国とのホストタウン事業については、MOU締結を一つの契機として捉え、競技種目にとらわれることなく、幅広く人的・文化的相互交流が図られるよう、事業展開をしていきます。

35回目の開催となる田沢湖マラソン大会は、今年は9月20日に開催されます。毎年全国各地から約5,000人の参加を得て開

催しており、ここ数年は海外からの参加者も増えてきています。台湾高雄市との友好交流をますます充実させ、国際的なマラソン大会を目指していきます。

フリースタイルスキーワールドカップモーグル競技は、これまで培った経験やノウハウを活かし、これまで以上に盛り上がる大会を目指します。また、秋田県と共催で実施しているジュニアキャンプを引き続き開催し、次世代選手の発掘、育成に力を入れながら競技への関心を高めていきます。

第7回となる「秋田25市町村ふるさとあきたラン！」については、10月10日、11日に角館を主会場として、市内を循環するコースで開催します。この大会は、県内全ての市町村が一堂に会し、市町村を代表する選手による駅伝大会を開催することにより、「元気で賑わいのある秋田」の実現を図るために開催されており、開催市として全力で準備・運営にあたりたいと考えています。

市民の健康づくりを進めるため、日常的なスポーツの習慣化に向けたきっかけづくりや、スポーツを楽しむ機会を提供するため、スポーツ推進委員の指導・助言を得ながら、生涯学習、健康づくり事業との連携を図り、合わせて体育施設の適切な維持管理に努め、市民スポーツの推進、健康づくりを図っていきます。

【文化財課】

仙北市一帯に残されている貴重な文化財の発掘、保存、活用に努めるとともに、北浦地方の悠久の歴史をご理解いただけるよう、歴史関連事業等を広範囲に、積極的に展開します。

令和2年は、現在の角館の町並みが造られてから、400年となることから、8月に町割400年記念シンポジウムを開催する予定です。広く市民の皆様とこれからの角館の町並み保存と活用について考える機会にしたいと考えています。

平成27年度から年次計画により実施している、伝統的建造物群

保存地区防災施設整備事業は、令和2年度に現在の角館庁舎北側にあたる、Dブロックのエリア整備を行います。これで防災施設の整備事業が完了することになります。

重要伝統的建造物群保存地区保存整備事業について、平成29年度から継続している河原田家の修理工事は、令和2年度に米蔵の改修工事を行い完了となります。令和3年度から一般公開が出来るように準備を進めます。また、武家屋敷通りの板塀については、現況調査を行い、修理が必要な箇所を把握するとともに今後の修理計画をまとめます。

仙北市の花「サクラ」について、天然記念物・角館のシダレザクラと名勝桜木内川堤等のサクラの適正な樹木管理のため、角館のサクラ保存管理協議会や、関係部署と連携し継続して管理に努めていきます。

「角館祭りのやま行事」は、今後も角館のお祭り保存会を中心に、伝統文化の継承と保存に取り組むとともに、更に安全で格式あるお祭りを目指し、関係者や市民の皆様と共に取り組みます。

【角館町平福記念美術館】

町割400年に合わせ、角館の歴史に関連した展示をはじめ、仙北市内外の方々に広く親しんでいただける企画展を計画しています。

「春のコレクション展(仮題)」では、今まで寄贈していただいた館蔵品の中から、角館の春を表現した日本画、洋画、写真など約60点を展示します。角館出身の洋画家・渡辺浩三の没後40年を記念して「没後40年渡辺浩三展」を令和元年にご遺族から寄贈された作品を交えて展示予定です。「町割400年記念展平福穂庵とその弟子たち(仮題)」として、穂庵一門の日本画作品及び町割絵図や資料の展示を行います。

また、角館出身の若手日本画家「山田美知男日本画展(仮題)」、「郷土画人の屏風展(仮題)」、「児童生徒県南美術展」、「館蔵品・

寄託品展」等を開催する予定です。

今後も美術館においては、仙北市にゆかりのある作家を中心とした企画展示を行い、多くの方々から気軽に芸術作品を鑑賞していただけるよう創意工夫に努めていきます。

以上、令和2年度の教育行政の基本方針及び主要な施策の概要について申し上げます。

本定例会に提案しております教育関係議案につきまして、慎重審議のうえ、ご可決賜りますようお願いいたします。